

研友会 史跡探訪同好会

第一回海外探訪旅行

平成22年(2010年) 6月25日(金)

∫

6月28日(月)

韓国^の歴史と文化を訪ねての四日間

〔旅行の全行程と内容〕

（1日目） 6月25日（金） 大阪 雲 釜山 雨

各自、関西空港の南団体受付カウンター（G）N61に午前11に集合予定。

増谷は、ナンバ オーキヤットより関空行きのバスに乗る為、午前9時25分にバス乗り場に行くと、すでに裏野、酒谷、島田、西尾（恵）の4氏が来ていました。バスが来たので乗ろうとしたら、増谷2人のチケット（回数券）は旧料金（¥880-が昨年値上がりして¥1080- でした）の為チケットの買換え（アチトラブル？）をして無事乗車しバスは定刻の9時40分に出発しました。

バスは10時30分ごろ関空に到着、受付カウンターには10時40分ごろ着く。

順次今回参加の史跡探訪の仲間が集まり、11時の集合時間には参加者16人中15人が揃う、あと1人皆がヤキモキしているうち11時少し過ぎに最後の1人も到着（誰だったかなあ？）

全員揃ったところで、阪急交通社より航空チケットの引き換え用紙を各人受け取り次ぎは北団体カウンター（B）（大韓航空カウンター）迄、大移動し荷物を預けてKE732便の航空チケットと荷物引き換えチケットを受け取り、出国手続きをして、13番ゲートの待合所へ。

12時30分ごろ搭乗手続きをして、定刻の12時50分出発、機内で少し遅い昼食（軽食でした）を取る14時15分釜山の金海国際空港に到着。

入国手続きを済ませて、ゲートを出ると今回のツアーガイドのユンさんが待っていてくれました（心の中でオー！美人だ！と思わず叫んだのは増谷だけ？）

空港内の銀行で全員が1人¥10000-を韓国ウォンに両替（W128500-）（金持ちになった気分？）釜山は雨の為、傘の用意をし史跡探訪同好会専用のバスに乗り込みました（座席は横に2人掛けと1人掛けの3列で行きは9列の28人乗りで広々としていますガイドさんの話しでは最新型のデラックスバスとの事です）運転手はキンさんです（宜しくたのんまあ〜す！）

まずバスにて釜山の国際市場へ、約1時間のフリータイムです、後で聞くと以前に日本人観光客が多数犠牲になったピストルの射撃場が有り見て来た人も居りました。（自分も知ってたら絶対行ってたのに。残念？）

（増谷は古着の臭いで鼻をムズムズさせながら雨の中をウロウロでした）

次に国際市場より徒歩にて龍頭山公園へ急な坂を登り長い階段を上がり（フーフーハハハ ああしんど）やっと登り切った所に釜山タワーがありました、

ここは予定外でしたが、皆でタワーに上がりました（1人W4000-）

この公園は海拔69Mタワーが120Mの為釜山の町が一望のもとと思いきや雨の為今一つでした（晴れていたらなあ、誰だ雨を降らしたのは？ン）タワー前の売店のベンチには雨に濡れながら座っているチェジュの等身大の人形がありました（思わず傘を差し出した…美人に弱いのは増谷だけ？）

この後バスは一路慶州へ、約3時間程で慶州の普門観光団地へ（ここは慶州を代表する高級ホテルの集まっているエリアです）夕食は此処のコモドホテルの隣りにあるレストランでサンゲタンを食べました。取り合えずビール10本を注文して（この後も昼と夜の食事時6回全て）皆でカンパイ！外で花火が数発上がりましたが、まだ薄明るい為パッとしない（19時30頃）

（史跡探訪同好会の韓国訪問の歓迎の花火かな？）

食後慶州市内にある雁鴨池（世界遺産）へ、ライトアップされて大変きれいでした（慶州市民もライトアップされたこの公園を楽しんでいました）ここは朝鮮王朝が三国統一を記念して674年新羅第30代文武王により造営された人工池に離宮や臨海殿を建設したとの事です（現在の建物は復元された物）

慶州コーロンホテルへは21時30分ごろ着きました。ガイドさんより「明日は午前7時30分出発です」と聞いて、疲れがドッと出ました 重い足取りで各自部屋へ、ホテルは仏国寺のバス停の近くで他に建物はなにもありません 外は真っ暗闇で 雨音が聞こえて来るのみです（寂しい夜だね～）

（2日目） 6月26日 （土） 今日も雨

予定通り午前7時30分全員遅れる事なくバスに乗る、ホテルの人達が日韓の小旗を振って見送ってくれました、雨の中～有り難う（昨夜 西尾(博)さん達の部屋で電気トラブルが有り、結局部屋を替えてもらったとの事）(ﾌｯﾄﾗﾌﾞﾙ でしたね) 朝食は昨夜のレストランのすぐ横の、レストランでカルビ湯をいただきました おかずは お代り自由なのに 御飯は有料でした（日本と逆ですね）

食後 石窟庵へと向かって出発しましたが、バスはコーロンホテルへ行きました 竹原さんが帽子を忘れたとのこと(ﾌｯﾄﾗﾌﾞﾙ) 戻って来るとホテルの人が玄関で帽子を持って、まって居てくれました、無事帽子を受け取り「さあ出発」と、その時大林さんが「ワシの前歯（仮歯）が、無くなったの知らんか」と言って歯の抜けた表情を見せたので爆笑の渦になりました(ﾌｯﾄﾗﾌﾞﾙ) 又 西村さんも昨日、両替した韓国ウオンの入った封筒が、わからなくなり あちこちと捜したとのこと～結局～見つかったとのこと、皆ホットひと安心しました。

バスは吐含山をクネクネと登ってやっと石窟庵（世界遺産）へ、釈迦如来石仏と対面しました。ここは新羅第35代景德王時代の宰相の金大城の発願により751年創建されましたが、その後歴史と共に忘れ去られていましたが20世紀初頭に発見されて修復されたとのこと。石窟庵の前庭は慶州第一の御来光ポイントとのことで 狭い前庭が人で一杯になる事が、よく有るそうです。

またバスに乗りさっきの道を下って仏国寺（世界遺産）へ向かいました、仏国寺は6世紀前半の創建と伝えられていますが、歴史に登場するのは751年に やはり金大城の発願により 大規模な拡張工事をして大伽藍に成った頃です。1592年の文禄の役（豊臣秀吉の朝鮮出兵）で、大半の木造建築が焼失したとのことです。

新羅時代の遺構は大雄殿の前庭にある釈迦塔と多宝塔及び石造物ぐらいと言われている。尚 現在の伽藍は1973年の復元です（今の伽藍は当時の地位です）次にバスは慶州市内の古墳公園（世界遺産）へ、此処には新羅時代の王族の古墳が23基もあるそうです。唯一内部を見ることの出来る天馬塚を見物しました（白樺の樹皮に天馬図が描かれた馬具が発見されたので天馬塚と名付けられた）この後バスは紫水晶の店（多多ショッピングセンター）へ寄りました、品定めをして気に入った品物を買った人もいました（土産選びは大変ですよ）昼食は 石焼きビビンバでした。今日も元気に ビールでカンパ〜イ！

ビビンバに かかっていたノリが大変おいしかった「このレストランで作ったノリだから他店では売ってない」と言われ思わず買ってしまいました（当然中川会長への土産にも買いました）（増谷も日本に帰って土産に渡した方から美味しいし量も沢山あってと、大好評でした ホッ よかった！）

食後 安東河回村（アンドン ハフェマウル）の観光に行きました。ここは朝鮮王朝時代の同性集落で当時のままの両班屋敷やワラ葺屋根の民家が130戸余りも有り人々は今も、当時の文化を守りながら暮らしています。ここには途中のゲートで専用バスに乗り換えてしか行けません（一般車両は侵入禁止です）村内の三神堂の神木に 研友会の皆の健康祈願を短冊に書いて結んで来ました韓流スターのヨン様がここに来た時の写真やサインもありました。エリザベス女王の お手植えのモミの木もしっかり根付いていました。

次に韓国の桂林と呼ばれている丹陽の鳴潭三峰（トダム サンボン）に行きました丹陽八景の一つと呼ばれ 写真では風光明媚に写っています…が…実際には期待程でも…？（増谷的には…まあ こんなもんか〜でした）

夕食はアルコギ焼肉でした（スキ焼きの様なもの）又またビールでカンパ〜イ！21時30分過ぎに 水安堡 常録ホテルへ到着。この日はワールドカップに韓国が出場する日だった為ホテル前の特設ステージでは応援の生バンドが出て大音響で演奏していました、雨の中御苦勞様（応援の甲斐もなく残念でしたね）

（3日目） 6月27日 （日） 今日もまた雨

早朝6時よりホテルの温泉風呂が開いているので地下1階の入浴チケット売り場へ行き入浴券を購入（W4000-）男風呂の受付カウンターで入浴券を渡して、さあ一番風呂と思いきや二番でした（一番は知らない人でした）気を取り直し体を洗って大きな湯船に浸かっていい気持ち〜そのうち研友会の面々が一人二人と入って来て 史跡探訪同好会の専用風呂の様になりました。

朝食はホテル内です、我々研友会のほとんどの者はバイキング式だと勘違いして「食べ物はどこ 飲み物はどこ」と言うたびにガイドのユンさんに「アメリカンスタイルですテーブルに着いて下さい、ボーイさんが用意してくれます」と言われる始末…不承不承納得しておとなしく？席に着きました（増谷もバイキ

ング式と思っていたので…少しガッカリ でした)

「オレンジジュースがほしい、牛乳をくださ〜い」と好き勝手を言って？(アメリカン スタイルを理解していない)ホテルの方々は、この我ままに答えて下さり有り難うございました。(アメリカン スタイルとは、食べ物にはトーストと目玉焼き、ベーコン、フルーツ等で 飲み物はコーヒーのみだそうです)

午前8時ホテルを出発し ソウル手前の町 水原(スウォン)で世界遺産の水原華城(スウォン ファソン)を観光しました。ここは朝鮮王朝第22代国王の正祖大王が築いた城です(1794着~1796削)韓国城郭建築の最高峰と呼ばれ城郭には4つの大門があり 全周5.7kmもあります(徒歩で一周すると3~4時間かかる)現在の建物は1975年から4年かけて修復再興したものです。

大き過ぎて全体が見えないのか、雨に煙って見えないのか 誰のせいだ?ン…昼食はキムチチゲでした ここでも ビールでカンパーイ!

バスにて一路ソウル市内へ、ソウル新羅ホテル内の免税店へ(ここは旧迎賓館でした)免税店では皆、思い思いの品物を買いました(中川会長へのお土産のマッコリ入りチョコもここで買いました。日本円で¥2260- 免税店でこの値段とは、ちょっと高い様に思いました…が 皆さんは?)

この後 時間調整の為、南大門市場に下見(約30分)に行きました(これは宗廟(チョンミョ)専門のガイドさんの予約時間に少し間があった為)

そして宗廟(世界遺産)へ行きました、宗廟に入る前にしっかりとトイレタイムを取りました(途中で兆したら大変ですよ!ねえ誰かさん?フッフ)宗廟内専門のガイドのキンさんに案内してもらいました(生きのいいカワイイ、ガイドさん大阪の吉本でも、人気者になれそうな楽しい人でした。皆も同意見ですよ?)

ここは朝鮮王朝の歴代国王と王妃の、位牌をお祀してある霊廟です。朝鮮王朝の最後の国王の王妃である、日本人のマサコ妃の位牌もここに祀られてあるとのことです(思わず 合掌…)一番大きな建物(正殿)は長さが101Mもあって韓国一の長さの木造建築です。この正殿は1395年に竣工して以来、次々と増築を繰り返して1836年に部屋数が19室となり、長さ101Mになったとのことです。

(約450年間ですよ すごい!)(京都の三十三間堂より少し短いとのこと)ガイドのキンさんと惜別?のサヨナラをして、次の世界遺産の昌徳宮(チャドク宮)に行きました、ここは1405年朝鮮王朝第3代太宗によって、景福宮の離宮として造営し その後増築 拡大をして1495年に完成(昔の朝鮮人はなんて気が長がかつたんだらう?)朝鮮王朝第15代光海君から第27代純宗までの270年間正宮として使われた。昌徳宮最大の仁政殿は、シャンデリアが吊されており床はフローリング張りでした(西欧文化が導入された時いち早く取り入れた)また皇后の神殿の大造殿には立派なベッドが置いてありました。現在の大造殿は1920年景福宮の交泰殿を移築したものです、この建屋の屋根には大棟がなく他の

建物と比べて違和感が有りました、また大造宮の南にある熙政殿も1920年に景福宮の康寧殿を移築したとのこと、ここは国王が臣下と接見しながら国政を行った所です。内部は赤紫のジュタン敷でテーブルに椅子でした。

この後 再び南大門市場へ行き、皆 おもい思いに買い物を楽しみました
ロッテデパート内の免税店へは いつ行ったんだっけ 気位の高い店員に
増谷は 購買意欲もなくなり～記憶も定かではありません…

少しの時間でしたが、カジノ（セブラク カジノ コ엑スセンター）へ行きました。1人当たりW2500-の無料券をもらって、早速ルーレットへ 勝てるはずもなくハイおしまいでした。ところが大林さん やる～ チップを買ってルーレットに再挑戦 お見事 最大の36倍をゲットです（チ ハニング?）（夕食の飲み物が増えそう 楽しみ～!）

夕食は市内のレストラン（大林亭と言う店名です 本当なんですよ）（でも我々仲間の大林さんとは 全く関係有りませんでした）ここで宮中海鮮鍋を食べました 皆でビールでカンパイ！ 大林さんのおごりの焼酎でまたカンパイ！途中で韓国舞踊見物の人達9人が食事を早めに切り上げて行きました。残った7人は最後迄 腹一杯 飲んで 食べました。バスでホテルへ行く途中2人が韓国アカスリに行くと言って下車しました（さすが韓国通の裏野さんスゴイ!）20時30分頃 ソウル パレスホテルに着きました（きれいなホテルです増谷は今回の旅で利用したホテルで一番だと思えます、日本語スタッフがいなかったのが残念でした）増谷はホテルの自分の部屋に行きシャワーをすませて、ロビーに降りて行くと、ちょうど韓国舞踊見物を見て帰って来た人達とバッタリ会いました、皆ニコニコ 口々にすごく良かったと言っていました。自分はホテル近くをブラブラしてコンビニ（ファミリーマート）に寄って韓国らしい物を土産に買いました（大阪の鶴橋にも あったかな?）

（ 4 日 目 ） 6月28日 やっと晴

朝食はホテル内のレストランです今度はバイキングでした、やはり都市型ホテルはいいですね、各人が三々五々レストランに来てのんびり朝食を楽しみました。裏野さん達はホテルには午前3時頃帰って来たとのこと（まだまだ元気一杯です）酒谷さんが朝食に姿を見せないのが皆 心配してました、が 後で聞いたところトイレで頑張っていたとのこと 旅先での？秘つらいね（お疲れさんでした）竹原さんや木村さん達は早朝ジョギングに行ってきたそうです。途中学校らしき所があり門が開いていたので 中に少し？入った所でガードマンらしき人が何やら大声で怒鳴ってきたので、あわてて出て来たとのこと（お互いビックリ）午前9時ホテルを出発（ゆっくりの出発 いいですね 天気もいいし）自由の橋へ行く途中の、漢江（ハンガン）沿いは有刺鉄線でのバリケードが延々と続いており数キロ毎に見張り小屋があり一つ間隔ごとに自動小銃をもった

兵士が駐留していました（少し緊張しました、まだ休戦状態なんですね）
こんな景色が小1時間ほど続いて、自由の橋のある公園に着きました。ここは
京義線の長湍駅跡とのこと、朝鮮戦争で破壊された蒸気機関車が屋外展示
されていました。1000発以上の銃弾痕があり 痛々しい姿でした。これが
戦争なんでしょうね（蒸気機関車は日本の川崎製でした）ここには大きな
見張り小屋が有り兵士も数人駐留しており緊張が走りました。この場所は当然
撮影禁止でした。ポロボロの蒸気機関車のすぐ近くに有る自由の橋は途中で
仕切られていて、そこには平和を祈る色とりどりの短冊がギッシリ吊り下げら
れて有りました（本当の平和はいつ来るのか…？シンミリです）

次にバスは烏頭山（オドゥサン）の統一展望台に行きました。ここは漢江と
イムジン川の合流地です。展望台の1階部には朝鮮戦争の写真パネルが
多数展示されていました、エレベーターで上の部屋にいくと北朝鮮の小学校
の教室や住宅（2号住宅）の居間の実物大の再現展示もありました。千羽鶴
がたくさん飾ってある部屋が有りました（日本の千葉県の小学校が毎年
修学旅行で千羽鶴を持ってここに来ているとのこと）その他ここには韓国と
北朝鮮の休戦時より今日迄の交流を伝える、さまざまな展示物がありました。
また屋上には、W500-で2分30秒見る事の出来る望遠鏡が、あったので
対岸を見ましたが、久しぶりの晴のこの日は春霞みがかかったみたいで、
ボンヤリとしか見る事が出来ませんでした（W500-損した感じ！）屋内で
は日本語のナレーターによるビデオが放映されており、対岸（北朝鮮）の様子
が、よく判りました。

これで観光も無事終わり、韓国旅行最後の食事（昼食）はソルロンタン（牛の骨
等を一晚煮込んだスープ）です。そして今回の史跡探訪同好会の皆さんとの
最後の カンパーイ！

その後韓国食料品店に行き試食 試飲をし キムチを買った人が何人かいました
（試飲のマッコリを1本空にしたのは 誰だったかな？）

14時40分頃金浦空港に着く

バスの運転手のキンさんと サヨナラの握手をして、空港内の受付カウンター
に荷物を預け KE2727便の航空チケットと荷物引き換えチケットを
もらい、ガイドのユンさんに今回の旅行の案内に感謝してサヨナラの握手をする

15時頃 出国手続きをして37番ゲートの待合所へ。搭乗手続き迄のあいだに
我が妻は残りの韓国ウオンを免税店で使い切る（御苦労さまでした）

16時10分搭乗 16時35分金浦空港を定刻に飛び～一路関空へ

18時 関空へ到着 各人 荷物を受け取り、今回の旅行の無事と又の再開を
信じて 解散をし各人 電車の人 バスの人となり、三々五々家路につく。

（大きなトラブルもなく、楽しい旅行でしたね。皆様有り難う御座いました）

〔追記〕

(1) 有り難う！ そしてお疲れ様

- 裏野さん 大変な怪我にも負けず？今回の旅行の全ての面で八面六匹の活躍、有り難う御座いました。そしてお疲れ様でした。
- 西尾（暁）さん 手八丁 口八丁の働きで、皆をリラックスさせて下さり有り難う御座いました。そしてお疲れ様でした。
- 大林さん 今回の旅行を2倍も3倍も、楽しいものにして下さり有り難う御座いました。そしてお疲れ様でした。
- 西村さん 木村さん 今回は大？さんの暴走を、うまくコントロールして下さり有り難う御座いました。そしてお疲れ様でした。
- 西尾（暁）さん お土産の？りのゲット、お見事！知る人ぞ知るですね有り難う御座いました。そしてお疲れ様でした。
- 中山さん 帽子のファッションショー華麗でした、もう少し気付いてくれる人がいたらと思うと、少し残念です。お疲れ様でした。
- 参加の皆さん 大林さんと増谷の2人を、酒の肴にして下さり有り難う。二人は人気者になれたのかなあ？
とにかく、お疲れ様でした（誰が？）
- 水守さん 参加もしてないのに、あなたは韓国旅行中一日に数回名前が出て来ました、なぜかって？ 当然ですよ。ねえ、常より多くクシャミが出たのでは？お疲れ様でした？

(2) おもしろ語録

- ガイドのユンさんを キャデーさんと呼んだのは 誰？
お母さんと呼んだのは 誰？ 奥さんと呼んだのは 誰？
古墳公園に行き 天馬塚古墳の内部を見物した後で
古墳を見に行ったかなあと言ったのは 誰？

(3) 会計報告

入金（餞別）	研友会	¥20000-	中川会長	¥10000-
			日韓の為替レート	¥100 = W1285- (0.0778)
出金	釜山タワー	W4000-x16名 = 64000-		
	ビール	W5000-x10本x6回 = 300000-		
	お土産	韓国ノリ	W10000-	
		マッコリ入りチョコレート	¥2260-	

出金合計 ¥ (64000+300000+10000) (0.0778) + 2260 = 31357-
(¥30000-は餞別を充当 残り¥1357- は西尾さんよりの寄付とします)
今回 参加のなかった研友会の皆様、中川会長 有り難う御座いました
大変楽しい海外探訪旅行になりました (西尾さん 残金の寄付有り難う 御馳走様でした)

(4) 最後に

全行程の 一日、一日の 総べてが、大変楽しい旅行でした。大きなトラブルもなく、皆 元気でそして 笑顔で 日本の土を踏めました(少し大袈裟?)
短期間で よくこれだけ多くの所を 見て廻れたものだなあと 思います。
だって韓国縦断ですよ (すご〜い!)

全ての食事 大変おいしく いただきました。(全体に薄味で 自分の好みに 味を付ける事が出来るんですものね)

27日と28日の二日は、飛行機の時間から逆算すると 時間的に行程がきつくなつた為、観光コースの割愛をしたり 行程を変更する事もしました。

ここに 事後報告をします (よろしくご了承下さい?)

ただ残念だったのは 雨 雨 雨 やっと晴の空模様でしたね

それと 行きも、帰りも飛行機の座席がバラバラだったことです

(これは飛行機の他の客には、静かによかったのかな?)

この行程文は 自分(増谷)の行程を基に書きました。皆様の 感じは多分 少し異なると思いますが ごかんべん願います。また自分の思いのままを 素直(?)に書きました。少しでもご立腹の方も ごかんべん願います。

全くまとまりのない文章ですみません ごかんべん願います。

でも この行程文に目を通して、今回の韓国旅行を思い返して、あなたに 『笑顔が 少しでも浮かんだら』幸せに 思います

---以上---

(参加者 氏名) 16名

裏野 美治 (幹事)
木村 文一
竹原 順治
中山 淳子
西尾 光太郎 (幹事)
増谷 俊男 (団長)

大林 久
酒谷 卓良
中谷 文子
中山 平三
西村 精之

大山 秦正
島田 浩司
中谷 臣伯
西尾 恵太郎
増谷 鈴代

(50音順) 敬称略